



特定整備路線は中止に



特定整備路線の建設を中止させるよう求める住民ら =23日、国会内

住民ら国交省に要請

共産党・吉良よし子参院議員が同席

東京都が2020年までに完成させるとして建設を進めている都市計画道路・特定整備路線（28路線・25km）に対し、計画に反対する住民団体の代表らは23日、国土交通省に建設を中止させるよう要請しました。

申し入れには、日本共産党の吉良よし子参院議員が同席し、そのはじめ都議と北区議員団も参加しました。住民らは、4月に開かれた「止める！特定整備路線2018全都集会」の決議を提出した後、国が進めている都市計画道路の見直し状況と、特定整備路線の関係住民が提出している行政不服審査請求の審査状況についてヒアリングしました。

事業認可の取り消しを求めた住民らに、国交省の担当者は「都が適切に事業をおこなっている」と考えているなどと回答しましたが、「関係図面もないのにどうして『適切』といえるのか」との質問にはまともに答えられず、都の認可申請を国として十分にチェックしていない実態が浮き彫りになりました。



28日は日本共産党志茂・赤羽後援会の下町散策ツアー。台東区のボランティアガイドさんの案内で、寛永寺、東照宮、西郷隆盛像など見どころいっぱいの上野公園を歩きました。(のの山けん)



毎年恒例の水防訓練が26日、荒川河川敷でおこなわれました。今年は東京消防庁と北区の合同訓練で、救助ヘリによる救出実演やVR防災体験車などの体験ブースも。(のの山けん)

